

どがなかな 木田中です!!

大田市ふるさと情報誌

VOL.32

2016.2



高校生が撮った “おおだ”

表紙の写真は大田市内で撮影した大田高校写真部の作品です。

「NikonTopEye全国高校生写真サミット2016」に出場!

詳細は9ページに掲載しています。

【神戸発着】

行ってみよう！住みたい田舎日本一！

島根県大田市移住体験ツアー



▲子ご美の里の縁側にて

大田市では島根県と共催し、昨年12月5日から6日にかけて、田舎暮らしを考えている都会の人を対象に「移住体験ツアー」を行いました。

神戸駅発着・1泊2日の行程のツアーには、神戸や大阪から12名の参加がありました。

神戸駅を出発したバスは昼食会場の水明館（波根町）を目指します。水明館では新鮮な魚の刺身などの料理に舌鼓を打ちました。



▲地元の食材を使った料理が並ぶ

食事を終え、一行は大阪から移住した武田明美さんが営むしまね田舎ツーリズムの宿「薨のギャラリー馬路」（仁摩町馬路）へ。手作りのお菓子をいただきながら、武田さんが実際に移住して良かったこと、苦労したことなど、参加者と移住体験の話に花が咲きました。



▲移住体験談に花が咲く

歩くとキュッキュツと音を奏でる全国でも珍しい鳴砂の浜「琴ヶ浜」を散策した後、宿泊先の温泉津温泉（温泉津町）へ。到着後は、おのおの温泉に入浴したり、温泉街を散策したりと夕食までの時間をゆったり

りと過ごしながら自由時間を満喫していました。

夕食後は「ゆのつ温泉夜神楽」で石見神楽を鑑賞。舞台までの距離も近く、迫力のある舞を楽しみました。参加者からは「石見神楽を楽しみにこのツアーに参加しました。公演終了後、衣装を着て記念撮影もでき、良い思い出になりました」という声もありました。



▲衣装に身を包み記念撮影

翌朝は早朝ウォーキング。温泉津の自然を体感できる催しです。ウォーキングでお腹がすいた後の朝食はいつもより美味しく感じます。朝食後は空き家見学へ出発。

空き家見学では市内3か所の賃貸・売上の住宅を見

学。移住後の住居やバスから見る市内の風景を思い描きながら田舎暮らしのイメージを膨らませました。



▲空き家見学

そして一行は昼食と田舎体験のため、山口町にある「子ご美の里」へ向かいました。子ご美の里は矢田千里さんが営むしまね田舎ツーリズムの宿。こちらではこんにやく作りに挑戦しました。また昼食では子ご美の里で穫れた野菜をたっぷり使った料理が並びました。昔ながらのかまどで炊いたご飯はおこげも程良くできていて、良い炊きあがり加減。昼食後は矢田さんのご厚意で大根をおみやげにいただくことに。畑で大根を選び、自分の力で抜くことも都会の人には良い経

験になったようです。



▲こんにやく作り体験

ツアーの最後は三瓶小豆原埋没林公園（三瓶町多根）へ。参加者は地底にそびえる巨木群に興味津々な様子で壮大な巨木のたたずまいに目を奪われていました。また大田市マスコットキャラクター「らとちゃん」も登場し、記念撮影や握手をして旅の思い出を作りました。らとちゃんに見送られながら一行は神戸への帰

路につきました。



▲らとちゃんに見送られ神戸へ

参加者からは「また大田市を訪れたい」「関係者の皆様のおもてなしに感動。いつもと違う旅行になり大満足です」「今後もツアーを企画して欲しい」などの感想をいただきました。大田市では今後も移住・定住のための様々な取り組みを行なっています。

【日程表】

1日目

- ・神戸駅・発
- ・水明館（昼食）
- ・蔓のギャラリーー馬路
- ・琴ヶ浜散策
- ・輝雲荘（夕食・宿泊）
- ↓
- ・ゆのつ温泉夜神楽

2日目

- ・早朝ウォーキング
- ・空き家見学
- ・子ご美の里（昼食）
- ・三瓶埋没林公園
- ↓
- ・神戸駅・着

参加者アンケート満足度ランキング

1位：三瓶埋没林公園

壮大な巨木群に感動！堂々の1位！

2位：子ご美の里

こんにやく作りを体験！田舎を満喫！

3位：ゆのつ温泉夜神楽

石見神楽の迫力のある舞いに驚き！



▲埋没林の壮大な巨木群(第1位)



▲子ご美の里(第2位)



▲迫力の石見神楽(第3位)

一度はあきらめた夢をふるさと大田で

大野さん夫妻



▲大野鮎美さん(プチリュクス店内にて)



平成26年11月に移住した大野鮎美さんは、長久町で「パティスリー・プチリュクス」という洋菓子店を同年12月にオープンしました。

熊本県出身で専門学校で製菓を学んだ鮎美さんは、いつか自分のお店を持ちたいと思いつきながら、働いていました。

結婚や出産を経て夢を諦めていましたが、夫の僚太さんから、「自分のお店をやってみたら？」と提案があり、鮎美さんは夢の実現に向かって動き始めます。

僚太さんが大田市出身ということもあり、縁があつて長久町に店舗兼住宅を建て、営業を開始。店頭にはたくさん種類のケーキやクッキーなどが並びます(写真左)。

大野さんは市の『定住奨励事業』(下段参照)と『新築住宅の課税免除制度』(次頁上段参照)を利用。

「設備代に費用がかかるので、定住奨励事業は助かりました。また新築住宅の課税免除もうれしい制度です」と言います。

パティスリー プチリュクス

長久町長久イ264-2
☎0854-82-1212
営業時間：10：00～19：00
定休日：不定休
※定休日はフェイスブックに掲載しています。



Facebookページ

プチリュクス 検索

「何度も来店してもらえようなお店を目指して、気軽に食べられる大きさと価格にしました。いろいろな種類を用意していつ来ても楽しめるお店を目指しています」と鮎美さんはお店のこだわりを語ります。

鮎美さんの夢はまだはじまつたばかり。今後の活躍に期待しています。

定住奨励事業

UIターンで大田市に定住されるかたの住宅取得や賃貸費用の一部を助成し、移住・定住を応援します。

《お問い合わせ先》

市役所 地域振興課 定住推進室

☎ 0854-83-8029

FAX 0854-82-5885

区分	基本金額	加算額	助成額の上限
新築・中古住宅の取得による場合	①新築費用もしくは中古住宅購入費用(土地代除く)の10%と20万円を比較して低い額	③18歳以下の子供1人につき2万5千円(2人分まで：上限5万円)	上限30万円 (基本額と加算額の合計額) ①+③+④
賃貸住宅への入居による場合	②家賃の3カ月分と10万円を比較して低い額	④世帯主が45歳未満の世帯1世帯につき新築・中古住宅の取得による場合は5万円、賃貸住宅への入居による場合は家賃の1カ月分と3万円を比較して低い額。	上限18万円 (基本額と加算額の合計額) ②+③+④

※助成には別途要件がありますので詳細はお問い合わせください。
※事業の内容に変更がある場合があります。

新築住宅の課税免除制度

地方税法による新築住宅の固定資産税軽減措置に併せて、市独自の課税免除の上乗せを行い、住宅需要を喚起し、定住促進と地域活性化を図ることを目的に新築住宅の課税免除を行います。

〈対象住宅〉

- 1、地方税法の「新築住宅に対する固定資産税の減額」の対象要件に該当すること
- 2、本社または営業所等を市内に有する法人及び市内に住所を有する個人事業主が施工した住宅

※課税免除には申請手続きが必要となります。また申請には上記の他、別途要件がありますので詳細は市役所税務課資産税係までお問い合わせください。

〈助成内容〉

住宅の居住部分のうち120㎡分にかかる固定資産税を新築後の3年度分全て減額する制度です。

国の法律で定められた制度

新築住宅の固定資産税が3年間又は5年間又は7年間減額
(居住部分のうち120㎡分の固定資産税が1/2になる)

市独自の制度

国の制度で減額されなかった残り1/2を市で独自に免除

【期間は3年間】

〈お問い合わせ先〉

市役所 税務課 資産税係

☎ 0854-83-8025 FAX 0854-82-8944

さんのお跡地にスーパーマーケットがオープン

大田町橋南地域の活性化へ弾み



▲グッディー大田店

地域の産品を豊富に取り揃えています。他にも輸入菓子のような高級感ある商品も数多く、幅広い品揃えが人気を呼んでいます。

また、食料品や日用品の販売のほかに、クリーニング店がテナントとして入居しており、利便性の高さも魅力のひとつです。

平成23年に閉店した大田町の「さんのおデパート」跡地に、昨年12月11日スーパーマーケット「グッディー大田店(株式会社ウシオ)」がオープンしました。

4年ぶりとなる橋南地域での新しいスーパーに、オープン初日から大勢の買い物客で賑わいました。

新しい店舗は平屋建てで、店内の通路が広めにとつてあるため、買い物のしやすいつくりとなっています。

また、地元の魚や野菜をはじめ、お酒に加工食品といった

この新店舗の建設にあたっては、地元の商店会の有志9人が立ち上がり、大田町本通商店会協同組合を設立。国や市の補助金を活用して「さんのお」の店舗と立体駐車場を解体しました。

この土地に、(株)ウシオが新店舗を建設して、開店の運びとなりました。

大田町本通商店会協同組合の齊藤寛理事長は、「商店街の活性化を目的に、お客様を呼び込む核となる店舗としてグッディーを誘致しました。オープン以降、人の流れは間

違わなく変わっています。この流れを商店街の各店舗へ広げていきたいと考えています。例えば、お店の人が講師となって専門店ならではの専門知識や情報を教える講座『まちゼミ』のような活動を実施するなど、商店街の賑わいに繋がる取り組みを実施していきます」と話されました。

商店街に明るい兆しが見える中、グッディー大田店近くの空き店舗では、新たにカフェがオープンすることとなり、改装工事が進められています。

橋南地域の商店街から、賑やかなまちづくりに向けた植音が響いています。



▲解体前の旧さんのおデパート

仁摩サンドミュージアム 「ギネス認定」と「時の祭典」



▲ギネス世界記録認定書のお披露目



▲一年計砂時計「砂暦」

「世界一大きな砂時計」 としてギネス認定

大田市に、世界一大きな砂時計があることをご存知ですか？仁摩サンドミュージアム（仁摩町）の一年計砂時計。世界最大の砂時計として、「ギネスワールドレコーズ」が確認し、昨年9月上旬発行の「ギネス世界記録2016」に掲載されました。

この一年計砂時計は「砂暦」と名付けられ、直径1m、高さ5.2mで総量1トンもの砂を使った砂時計は一目でその大きさに圧倒されます。これまで世界最大とされていた砂時計の直径0.38m、高さ1.06mの大きさをはるかに超え、ギネス世界記録に認定されました。

「砂暦」の真下にあるタイムホールには、砂暦のレブリカや様々な作品が展示され、来場者を楽しませます。

大畑修一事務局長は「世界一の砂時計として発信されることは喜ばしい。県内外の人に魅力を感じてほしい」と来場を呼び掛けています。

「やん」悲願の95位!

るキャラ® グランプリ
長を務めた竹腰市長に

なのおかげ! ありがと
ラカードを持って登場
いたみなさんへ感謝の

の挑戦で悲願の100位以
しい。らとちゃんファ
した。

PRをがんばる「らとちゃ
よろしくお願ひします。



▲結果を報告する「らとちゃん」

らとちゃん



Twitter元気に更新中!



らとちゃんとは…



らとちゃん
©2012大田市
K215

螺灯（らとう）と鋤夫の衣装がモチーフの大田市マスコットキャラクター。螺灯とは、かつて石見銀山の間歩（坑道）でも使われた、サザエの殻に油を入れて火を灯す明かりのこと。

恥ずかしがり屋さん、だけどいったん「火」がつくと、ソコヌケに明るい性格なのだとか…。頭に揺れる小さな炎で、人々の心や地域の未来に明かりを灯します。

年越しイベント 「時の祭典」

仁摩サンドミュージアムでは、年末カウントダウンイベント「時の祭典」が毎年行われています。「時の祭典」は、年男・年女108人で、一年計砂時計の綱を引いて半回転させ、上下をひっくり返して新年を迎えるイベント。

今年も大晦日から元旦にかけて行われ、砂時計の回転のほか、アーティスト「あんどりいらんど。」によるライブイベントやビンゴ大会、ふるまいそば・ふるまい豚汁など盛りだくさんの企画を来場者は楽しみました。

新しく流れ始めた砂時計を



▲「時の祭典」の様子



▲冬の夜空を彩る花火

見上げれば、新しい年を迎えた実感が湧いてきます。新たに一年の時を刻み始めた砂時計のもと、みんなで新年を祝いました。

また年越しのカウントダウンが終わると1,000発の花火が勢いよくあがり、来場者からは歓声があがりました。新年の夜空を彩る冬の花火は珍しく、県内外からたくさんの方々が賑わいました。

仁摩サンドミュージアム

漫画「砂時計」の舞台になった、『砂』がテーマの博物館。大小6つのピラミッドの中では様々な砂時計や不思議な砂のオブジェに子どもたちも釘付け。鳴砂の秘密や砂の魅力に触れることのできるイベントなど盛りだくさんです。

住所：仁摩町天河内975 ☎：0854-88-3776
営業時間：9：00～17：00（入館は16：30まで）
定休日：第1水曜日（祝日を除く）、年末年始



ゆるキャラグランプリ®2015で「らとち

大田市マスコットキャラクター「らとちゃん」がゆるキャラ® グランプリ2015に参加。一昨年の131位から95位に大躍進し、総合100位以内の目標を達成しました。得票数も32,427票から約2.5倍の81,696票と一昨年を大きく上回り、たくさんの方々の応援をありがとうございました。

今回のゆるキャラのエントリー数は1,727体と史上最高。「らとちゃん」は県内外のいろいろな場所へお出掛けし、大田市のPRとともに投票を呼びかけました。昨年11月21日（土）～23日（月・祝）の決選投票（静岡県浜松市）にも参加し、多くの方々から声援をいただきました。



◆浜松市の決選投票にてPR

「らとちゃん」はゆ2015の結果を後援会報告しました。

「うれしいな！みんなう！！」と書かれたプし、応援していただき気持ちを伝えました。

竹腰市長は「4度目内を実現できてうれンのおかげ」と話しまこれから大田市のん」への応援・声援を

大田市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定

2060年人口

2万3千人維持

大田市では、昨年10月末に「人口ビジョン」および「大田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

人口減少傾向が今後も続くものと予想される中で、将来を担う次世代に活力ある地域社会を引き継いでいくため、大田市版「総合戦略」を、市民の皆さんをはじめ、市議会や民間事業者のかたがたから広くご意見をいただき、議論を重ね、策定しました。

今後は、この「総合戦略」に掲げる取り組みを推進し、市の持つ、自然や歴史など豊かな資源を最大限に活かした、「住みよいまち、住みたいまち『大田』」を目指していきます。

なぜ2万3千人なの？

国立社会保障・人口問題研究所によると、平成72(2060)年の市の人口は約1万6千人と推計されています。

本年2月現在、大田市の人口は約3万6千人。約45年間に2万人減少するという厳

女性・若者の定住を推進する4つの「つくる」

人口2万3千人を維持するため大田市版「総合戦略」では、若者、特に若い女性の流入・定住や、子育て世帯への支援の充実を重点的に取り組むこととし、次のとおり基本目標・数値目標を定めました。

- 1 多様な産業を活性化し「はたらく場」をつくる（雇用創出5年で500人）
- 2 「結婚」「出産」「子育て」の希望をかなえる環境をつくる（出生数5年で1300人）
- 3 新たな「ひとの流れ」をつくる（転出超過5年で半減）
- 4 「交流」「連携」「協働」により住みよいまちをつくる（市民満足度調査において満足と感じる人の割合30%）

今後は、これら4点の目標の実現に向け、全市をあげてさまざまな施策に取り組んでいきます。

総合戦略は
ホームページから
ご覧いただけます



©RAN OOHATA

総合戦略の表紙は、合併10周年を記念して制作した大田市の愛唱歌「0854・8」のイラストを使用しました。大田の「まち」、幅広い世代の「ひと」、そしてさまざまな「しごと」が描かれています。

大田市版「総合戦略」、「人口ビジョン」は大田市ホームページからご覧になることができます。ホームページ内検索で「総合戦略」または「人口ビジョン」と検索ください。

《お問い合わせ先》

市役所政策企画課

☎0854・83・8005



シリーズ石見銀山③②「発掘調査が終わった後は」

今年度の石見銀山遺跡発掘調査も無事終了し、現在は調査報告書の刊行準備を進めています。今回は発掘調査が終わってから報告書刊行までの整理作業について少しお話しします。

遺跡の調査といっても単に現地を掘り下げて生活の痕跡を探し、出土した遺物の記録を取るだけではありません。

現地での作業が終わると、調査によって見つかったもの、分かったことを整理してまとめ、報告書として公表する必要があります。調査成果を公表することの意義は、調査を記録に残すことに留まらず、調査成果を多くの人に知ってもらい、調査研究の基礎資料として多くの研究者や関心のある方々に活用してもらうことです。

まず、整理作業として主に次のようなことを行ないます。①出土した遺物を洗って土や泥を落としてから、1点ずつ管理のために割り振った数字やどこから出土したものであるのかを書き込む作業、②バラバラの破片で出土した遺物を接着剤でつなげ、必要に応じて石膏などで欠損部位を補いながらもとの形に近づける作業、③出土した遺物についてどんな形をしていて、どこにどんな文様があるのか、どのようにして作っているのかを図で表す作業。これを①→②→③の順に進めていきます。瓦や土器などで複雑な文様があり、図化が難しいものについては石碑などと同じように拓本を取ることもあります。

以上のような作業を経て整理した遺物について、発掘調査現場で記録した生活の痕跡などをまとめて文章を作成し、書籍としての体裁を整えて出版して報告書が完成します。

報告書は印刷部数が少ないため、一般向けに配布はしていません。また営利目的で出版しているわけではないので市販もしていません。見たことのある人は少ないかもしれませんが、全国の大学や研究機関、博物館、大田市内の図書館等には備えていますので、関心があればぜひ探して読んでください。 《お問い合わせ先》石見銀山世界遺産センター ☎0854-89-0183 (担当：山手)



▲遺物を図化しているところ

大田高校写真部が「Nikon TopEye 全国高校生写真サミット2016」に初出場!

2月5日～7日に横浜で開催された『Nikon TopEye 全国高校生写真サミット2016』に大田高校写真部が代表15校に選出され、初出場しました。

初日に提示された撮影テーマ「走れ!横浜」に沿って、各校3人1組で作品をつくるチーム戦。3人で協力しながら作品を作り上げ、結果、4位(エプソン賞)という好成績を収めることが出来ました。

応援ありがとうございました。

■出場生徒：柿田知保実、松本真実、坂野すみれ



作品名「温故知新」

初めて行った横浜は島根(大田)よりずいぶん先を「走っている」都会ですが、よく見ると古いものや新しいもの、日本古来のものや異国のものが混じり合って共存している街でもあります。そんな横浜の姿を作品にしました。

〈Nikon TopEye 全国高校生写真サミットとは?〉

カメラメーカーのニコンが高校生写真部を対象としたコンテストを年に4回開催しています。その4回のコンテストでの入賞状況において上位15校が「全国高校生写真サミット」の出場権を得ます。大田高校は4作品が入賞し、入賞ポイント「74点」で9位となり代表校に選ばれました。

紹介します

地域おこし協力隊

2人の

市内の観光情報を発信 富田さん

富田さんは地域おこし協力隊員として、積極的な観光情報の発信など、大田市の観光振興に取り組んでいます。

今年度は——

- ホームページやSNS（フェイスブック等）を活用した情報発信
- 市外イベント等における観光PR（浜松市、大阪市、神戸市、広島市ほか）
- 大田市マスコットキャラクターらとちゃんの活用（ゆるキャラグランプリほか）

——など、大田市の魅力をPRしてきました。

これからも市内各地をまわり、富田さんは情報を集め全国に発信していきます。隠れた観光スポットや地域の話など、皆さんからの情報提供をお待ちしています。



▲浜松市での「ゆるキャラグランプリ」。ステージで大田市と「らとちゃん」をPR

富田真央さん (21)

愛知県豊明市出身。（一社）大田市観光協会にて観光情報発信や観光イベントの企画運営や支援等に従事しています。



大田市にある世界遺産や国立公園、海、温泉……どれも私の地元にはありません。ここには他の地域にはない観光資源があります。

世界遺産はもちろん、愛知に住んでいたならなかなか味わえない日本海の海の幸や石見神楽など、自慢できるものがたくさんあります。

地元の友達に「島根ってどこ？」とよく聞かれます。そんな人にこそ大田市の魅力を知ってほしいと思います。これからも応援よろしくお願ひします！

大田市では昨年4月から、地域おこし協力隊制度を導入。現在、2人の若者が地域の魅力アップや情報発信に取り組んでいます。



▲休日返上で農業実習——自走式の草刈り機を体験。竹内さんは富山町で定住したいと考えています。

富山町の魅力アップに熱意 竹内さん

富山町の活性化のお手伝いをしたいと、この町に住んでいる地域おこし協力隊員の竹内さん。持ち前の人懐っこさで地域に溶けこみ、イベントの企画・運営など地域で活躍しています。

そして、ひとりでも多くの人に富山町を訪れてもらうため、地元の若者たちと「とみやま探検隊」を立ち上げ、地域の名所をまわるバスツアーを実施したほか、観光マップやプロモーションビデオをつくりました。このほか、フェイスブックで地域の話や魅力を全国に発信——たくさんのファンを獲得しています。

農業・林業体験をはじめ、いろいろなことにチャレンジし地域の可能性を模索中。今後は、空き家を利用した交流イベントの開催にも取り組みたいと夢を膨らませています。

私が富山町に住むことを決めたのは、棚田が丁寧に管理されていて景観が美しい点や、人々の温かさにひかれてのことでした。

そして、実際に住んでみると、町のかた一人ひとりの笑顔がとても魅力的で、ますます富山町を好きになりました。

これからもイベントや交流事業を通じて、景観の素晴らしさや豊かな自然の恵み、富山町のお米や野菜の美味しさを多くのかたに知ってもらえるよう取り組みたいと考えています。

竹内恒治さん (33)

兵庫県赤穂市から富山町に。地域の魅力アップに向け、交流イベントの企画運営や情報発信に従事しています。



しまね縁結びサポートセンター ～しあわせなご縁を結ぶ。～

結婚を望む独身の男性・女性を対象にコーディネーターによる結婚相談、縁結びボランティア「はびこ」の紹介、イベント・セミナーの情報提供などを行います。将来、島根県内に移住の意志や予定がある方もOK!相談料は無料です。(ただし、お見合い時の飲食代、イベント参加費などは相談者負担)

電話やメールでの相談もできますのでお気軽にお問い合わせください。

〈松江センター〉

〒690-0887 島根県松江市殿町8-3-2F

☎: 0852-61-1150

休所日: 火・水・祝日・年末年始

〈浜田センター〉

〒697-0016 島根県浜田市野原町1826-1-2F

☎0855-25-1150

休所日: 火・水・祝日・第4土曜日・年末年始

開設時間: [月・木・金] 11:00～19:00、[土・日] 9:30～17:30

[E-mail] info@shimane-enmusubi.com

しまね縁結びサポートセンター 検索

同窓会幹事業務を代行します! ～2016年夏からスタート～

面倒な開催案内のハガキ作成から会場の手配、事前の出欠確認まで幹事業務を全て代行します。

同級生名簿をご用意いただくだけでOK!懐かしい旧友と楽しいひとときをお過ごしください。

※人数などにより料金が異なります。詳細はお問い合わせください。

〈お問い合わせ先〉(一社)大田市観光協会 ☎: 0854-88-9950

大田市 観光 検索

おおだ空き家情報 貸したい!売りたい! 空き家随時募集中!

平成28年2月12日現在

空き家情報はおおだの定住PRサイト『どがどが』でご覧いただくことができます。
おおだ定住支援センター〈大田市役所地域振興課☎: 0854-83-8029〉にご相談ください。

久利町佐摩

賃貸: 月額4.5万円

倉庫・物置付きの5LDK。ユニットバス、洋式トイレに改修工事済み。広々としたキッチンも魅力。駐車場も数台停められるスペースがあります。駐車場使用料は無料です。【物件番号:111128】(UIターン専用)



朝山町朝倉

売買: 650万円

日当たりの良い2LDK。平成15年築で比較的まだ新しい建物。ユニットバス、洋式トイレで快適。バス停から徒歩1分。駐車場も数台停められるスペースがあります。土地代込み。【物件番号:120016】



ふるさととは 今

「仁^に摩^まで恋活」

若者定住と地域活性化をめざして



仁摩町活性化シンボルキャラクター「にまちよう琴音ちゃん」



△「仁摩で恋活実行委員会」のメンバー

昨年12月5・6日、仁摩町において「仁摩で恋活実行委員会」主催の婚活イベント「仁摩で恋活」が開かれ市内男性19名、市内外女性16名が参加し“10組”ものカップルが誕生しました。

このイベントは、若者の定住と地域活性化を目指すとともに、仁摩地域の若者が運営スタッフとして参加することで次世代を担う人材育成も目的として開催しています。

1 回目は一昨年7月に開催。「琴ヶ浜」を舞台とした夏色いっぱいの催しに対し、2回目となる今回はクリスマスムード一色となりました。

仁摩地域の企業から選出された若者を中心に組織された「仁摩で恋活実行委員」43名が昨年5月から企画。若者を仁摩町へ呼び込み、定住に結びつけたい思いで取り組みました。

町内異業種15企業、18歳～65歳の実行委員が仕事終了後に集合。様々な仕事着の実行委員が会議室に集います。ごちないやりとりも月2～3回の企画会議を重ねていくうちに打ち解けていきました。また、昨年度の実行委員も応援に加わり一体となって当日を迎えました。

初日は仁摩農村環境改善センターでの「お見合い人間回転ずし」で始まり、会場を夜の仁摩サンドミュージアムに移



▲会場設営風景(リハーサルで盛り上がる実行委員)

して、クリスマスパーティー。地元の奏者によるピアノ・サクスの生演奏を聴きながらフリータイム・・・ときめく時間が流れました。パーティーには前回の参加者で昨年の秋に結婚したカップルも飛び入り参加し、会場は大いに盛り上がりました。さらに終盤には、サプライズ企画として松江市を拠点に活躍しているシンガーソングライター「奈都子」さんが登場。「仁摩で恋活」のイメージソングを披露し、参加者を魅了しました。

2 日目は仁摩保育所でのレクリエーションで和やかムード。そして仁摩サンドミュージアムでフリータイムを経てどきどきの告白タイム。10組のカップルが成立し、成功裏のうちに幕を閉じました。

スタッフのまごころに感謝する参加者からの感想が多く寄せられたことに加え、この大イベントを共に成し遂げたことで実行委員は最高の達成感を味わうことができました。この経験が、ふるさと愛への意識醸成へ結びつき、これからの仁摩地域活性化へ向けた取り組みへ繋がって行くことでしょう。

《お問い合わせ先》市役所 地域振興課

☎0854-83-8030



▲「恋活イメージソング」を披露するシンガーソングライター「奈都子」さん

この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行 / 大田市役所政策企画部地域振興課定住推進室 TEL:0854-83-8029 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail: o-tiiki@iwamigin.jp <http://www.city.ohda.lg.jp/>

“おおだ”の定住PRサイト「どがどが」 <http://www.teiju-ohda.jp/>

どがどが 検索